

* アーカイブ室収蔵品の調布市郷土博物館への貸出し展示

アーカイブ室が2008年4月に設置され、この1年余りの間に多数の歴史的に貴重な観測器械、関連器械、器具などを収蔵してきた(国立天文台ニュース2008年12月号、NAOJ歴史観測隊が行く! Mission05参照)。世界天文年2009ということもあり、調布市郷土博物館で農事暦の展示を企画し、昔の農業に使われた暦の展示を考えたことに始まり、国立天文台図書室に所蔵されている古い暦の展示と、アーカイブ室所蔵の暦に関連した古い観測器械などの展示をしたいと相談に来られた。そこで見繕ってみましよう、展示スペースとの関係もあり、貸し出したものは次の7点である。

- 1) 90mmバンベルヒ子午儀 (100年以上前にドイツからの輸送箱を含む)、写真1
- 2) クロノメータ (各地の経緯度観測に用いられたケイタイ天文時計)、写真2
- 3) セシウム原子時計 (初期の原子時計)、写真3
- 4) 天文時計 (山下時計) (昭和40年頃まで使用された恒星時時計)、写真4
- 5) セオドライト (測量用経緯儀)、写真5
- 6) ガバナー (電力を用いない赤道儀運転時計)、写真6
- 7) 東京天文台の門標、写真7



写真1



写真2



写真3 セシウム原子時計



写真4 山下天文時計



写真5



写真6



写真7

これらが展示された様子が写真8である。



写真8 調布市郷土博物館の展示の様子